

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)スーパーコート京・伏見桃山	階数	地上4F
建設地	京都府京都市伏見区桃山町大島97	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域 準防火	平均居住人員	89 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年6月 0.0	評価の実施日	2013年11月5日
敷地面積	1,203 m ²	作成者	前田 宇基
建築面積	720 m ²	確認日	2013年11月8日
延床面積	2,139 m ²	確認者	前田 宇基

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

個別計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	86%
③上記+②以外の	36%
④上記+	21%

このグラフは、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO₂排出量を評価者自身の計算（個別計算）により算出した結果を示しています。LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート（個別CO₂年）」を参照ください。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.6
温熱環境	3.0
光・視環境	2.7
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	3.0
耐用性	3.0
対応性	2.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物の	N.
自然エネ	4.0
設備システ	4.3
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.9
汚染物質	2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	4.2
地域環境	2.4
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 低層（4F）建物とし、北側道路からも十分後退し、日照、採光、通風に配慮し、圧迫感の無い様計画しました。特に無	その他 特に無	
Q1 室内環境 入居者が快適に過ごせるよう、十分な共用スペースの確保、十分な遮音壁によるプライバシーの確保等に配慮しました。	Q2 サービス性能 建物内バリアフリーの充実、適切な補助手摺の設置を行いました。	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を十分確保し、環境に配慮しました。
LR1 エネルギー 太陽光発電の設置を行いました。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材の利用、有害物質を含まない材料等を使用しました。	LR3 敷地外環境 低層建物とし、周辺の日照、通風に配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される